

第17回

世界スポーツチャンバラ

選手権大会

槍の田辺五段二年連続優勝!!
アメリカ・ディブ選手大活躍!!

場所 神奈川県立武道館
日時 平成三年十二月十五日(日)

主催 全国護身道連盟
国際護身道連盟
国際スポーツチャンバラ協会

アメリカから、韓国から、ベルギー、フランスからぞくぞくと強者が集った。
小太刀(六十cm以下) 長剣(二〇〇cm以下) 二刀、杖(一m40cm以下) 棒(二m10cm以下) 槍、ナギナタ(二m10cm以下) とそれぞれが使い慣れた得物を持って総勢千余名の熱気で館内が沸いた。
田辺大会会長、スポーツ平和党アントニオ猪木参議員

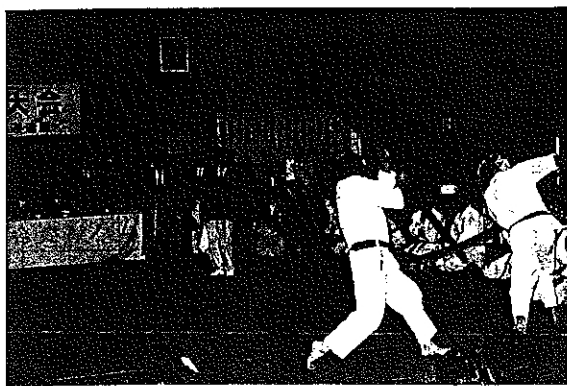
の激励の挨拶のあと小太刀のアメリカ、ミシガン州のディブ選手(二九才)は矢の様なスピードで次々と日本選手を圧倒し優勝、女子部では足打の得意な中学三年生の田辺恵選手が他を一歩リードしていた。
初参加のベルギーチーム、パトリン選手は氣迫のある面打ちが効を奏し堂々の三位入賞であった。
アメリカの高校生は一九〇cmの長身をいかしたジョウエイボウが敢闘賞に食い込んだ。小太刀三段以上の部では去年の優勝者関城五段が愛知の三沢幸雄五段に飛び込み面で二年連続をはばまれた。

韓国の鄭相溶選手は剣道出身者で長剣の使い方が鋭く、韓国勢では唯一氣を吐き敢闘賞となった。二刀の部では豊橋の鷲野明夫四段が上段からの面打の大技で優勝、棒、杖の部では東京の猪飼淳初段が練習量の豊富さをみせて安定した戦いぶりを見せていた。
槍、ナギナタの部は去年総合優勝の田辺賢一五段と槍優勝の横山久道五段の決勝となったが田辺五段の上胴(うわどう)突が決まり、各部優勝者戦、今様寛永御前試合すなわち小太刀、長剣、二刀、棒杖、槍ナギナタで真の剣豪世界一を決する勝抜き試合に出場権をか



く得した。
昨年の優勝者田辺五段(槍)のスピードはやはり素晴らしく剣道、棒、杖を事如く打ち破り十人目にアメリカ代表のディブmラネスキーの槍対槍となった。ディブ選手は恰かも猟銃民族が豹を射る如くのダイビング投

げ槍で田辺五段の十連勝を食い止めた。場内はさすがにしいどよめきでフィナーレとなった。
〔成績〕
☆寛永今様御前試合
優勝 槍五段 田辺 賢一(神奈川)
二位 棒初段



写真、剣道大会と一味違った世界スポーツチャンバラ選手権、試合風景、槍とナギナタの試合、(槍、ナギナタの長さは2m10cm以下)。

- 猪飼 淳(東京) 三位 二刀四段
- 鷲野 明夫(愛知) 二位 静岡(堀田)
- 三位 東京(田淵)
- 新鴻(伊佐)
- ☆個人戦
- ☆小太刀
- ▽小太刀女子 ①田辺恵(本部錬成) ②福原礼子(読売文化) ③パトリンアアカセルヌ(ベルギー)・八島百合子(八王子)
- ▽小太刀無段(男子) ①ディブ・mラネスキー(アメリカ) ②佐藤真悟(神奈川) ③辰岡功典(東京)・瑞誠一(群馬)
- ▽小太刀初、二段(男子) ①門川治郎(東京) ②宮根幸治(埼玉) ③渡辺淳(神奈川)・金内一幸(新潟)
- ▽小太刀三段以上 ①三沢幸雄(愛知) ②関城達也(神奈川) ③川野敏夫(東京)・波田明男(静岡)
- ▽長剣女子(オープン) ①高橋裕美子(神奈川) ②塚本美奈(同) ③根本純子(同)・菊池勢津子(東京)
- ▽長剣無段(男子) ①辰巳功典(東京) ②馬場和彦(新潟) ③秋山浩志・光山陽司(群馬)
- ▽長剣有段(男子) ①田淵(埼玉) ②山内宏(同) ③垂沢盛(新潟)・柏木和彦(埼玉)
- ▽槍・ナギナタ(オープン) ①田辺賢一(神奈川) ②横山久道(同) ③斎藤賢太郎(新潟)・小高芳久(東京)
- ▽二刀(オープン) ①野明夫(愛知) ②青木雅彦(東京) ③山河薫(同)
- ▽棒・杖(オープン) ①猪飼淳(東京) ②斎藤賢太郎(新潟) ③中原正光(神奈川)・嶋田征彦(東京)
- (国際スポーツチャンバラ協会通信)